

中国における電気自動車(EV)の市場と今後の見通し

近年、全世界で電気自動車(Electric Vehicle、略称EV)が注目を集めている。

今回は、電気自動車が注目される背景や普及に向けた課題及び今後の市場予想についてレポートする。

大連亜福友諮詢有限公司
(株)アジア福岡パートナーズ
大連現地法人
杜 妹亭(としゅてい)

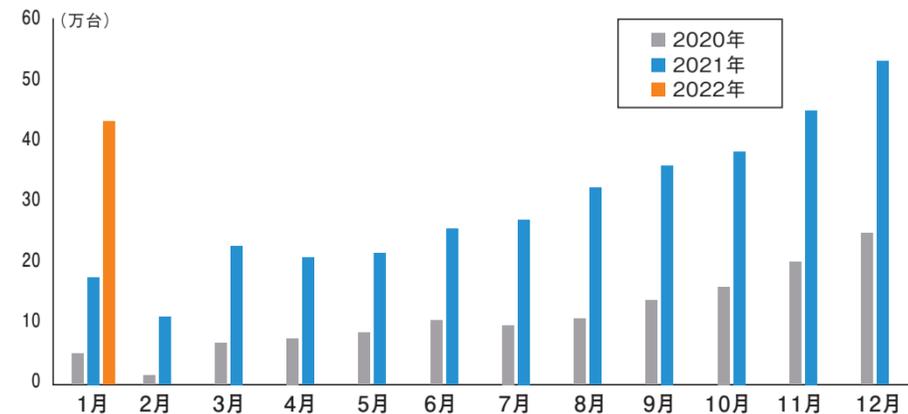


中国市場に関する情報

国家統計局が発表したデータによると、2021年の工業生産高は前年より9.6%増加した。このうち電気自動車の生産高は145.6%増加し、製造業の中でも爆発的に成長している分野である。

2021年の自動車生産販売状況は、生産が約2,608万台、販売が約2,627万台となっており、増加率はそれぞれ、3.4%、3.8%であった。このうち電気自動車など新エネルギー自動車の生産と販売数はそれぞれ約354万台と約352万台となり、前年の1.6倍となっている。電気自動車の市場占有率は13.4%に達し、前年より8ポイント上昇した。

■2020年～2022年新エネルギー自動車販売数量(月次別)
出所:中国自動車工業協会 WeChat公式アカウントより



国家関連政策による支援

電気自動車市場は中国政府の支援政策により拡大していった。2007年から国家発展改革委員会は「電気自動車生産許可管理規則」を発表し、2009年には、電気自動車をはじめとする新エネルギー自動車への補助金制度を導入した。2020年には補助金制度を2年延長し、2022年12月31日まで継続することを発表した。

2021年12月31日に発表された新エネルギー乗用車(非公共分野)補助計画によると、航続距離300～400kmの電気自動車補助金は9,100元、航続距離が400km以上の電気自動車の補助金は12,600元である。

また、国務院は「電気自動車産業発展計画(2021～2035年)」を公表した。ここでは、2025年までに新車販売台数に占める新エネルギー自動車の割合を現行の約5%から約20%に引き上げるというものであった。更に、2030年までに40%、2035年までに50%に引き上げる方針も示された。

電気自動車の最も大きな特徴は、地球環境に優しいことである。電気自動車は、ガソリンや軽油などの化石燃料を燃やさないため、走行時のCO₂(二酸化炭素)発生がゼロだ。脱炭素社会の実現に向け、世界的にも「脱ガソリン車・ディーゼル車」が提唱され、電気自動車に追い風となっている。

電気自動車のメリット



若者に人気がある電気自動車 左より五菱宏光MINIEV、五菱宏光NanoEV、同デザイン限定版
出所:上汽通用五菱ホームページより

また、中国で電気自動車市場が伸びたもう一つの要因は、電気自動車には多くのメリットがあり、消費者が受け入れやすいということである。

電気自動車は、ガソリン車に比べると維持費が格段に安くなる。これは中国だけでなく、日本でも同様であり、日産自動車公表しているデータによると、ガソリン車で1,000km走るためには10,571円が必要とされるが、電気自動車と同じ距離を走るために必要な金額は、わずか1,970円である。また、エンジン車に比べると、加速性能は高く、振動・騒音が少ないのもメリットである。

電気自動車の発展を制約する要素

しかし、メリットが多くあるにもかかわらず電気自動車は、消費者が積極的に購入できていない。これは、ガソリン車に比べ航続距離が短いことや、一回あたりの充電時間が長いことに加え、充電できる場所が少ない等の理由からである。2022年2月15日、中国消費者協会は旧正月期間の世論分析状況を発表した。ここでは、高速道路で電気自動車の充電が難しいということが再び浮き彫りにされた。これらの問題を解決することで、電気自動車市場は拡大するだろう。



写真:電気自動車に充電している様子
出所:pixabayホームページより

電気自動車の今後の動向・将来予測

CO₂の排出量を削減することは、世界的な課題となっている。政府も排ガス規制を強化し、クリーンエネルギー自動車を増やす動きがある。また、消費者にとっても免税や補助金の恩恵がある。

電気自動車はエンジン車に比べてインフラの整備が必要であり、これは政府や各企業が共同で取組まなければならない課題であると考えられる。今年1月、国家発展改革委員会や国家エネルギー局などの10部門が共同で「電気自動車の充電インフラサービス保障能力のさらなる向上に関する実施意見」を決定・公表した。ここでは新たな居住コミュニティは駐車スペースに充電施設を必ず設置するか、あるいは設置を確約しなければならず、既存の居住コミュニティでは一定の割合の公共充電駐車スペースを確保しなければならない。

技術の進歩に伴い、バッテリー寿命の向上や急速充電設備の技術革新など電気自動車の発展を妨げる欠点も改善されるだろう。同時に、電気自動車は新エネルギー産業を活性化し、製造業のモデルチェンジとグレードアップを牽引するとともに、関連業種を含めた工業界全体の強い牽引力となるであろう。

現状ではまだまだガソリン車が主流であるが、電気自動車は、高スピードで普及段階に入っており、今後、世界では電気自動車市場の拡大が進められる。